



SASEBO WEEKLY

佐世保ロータリークラブ 会長・橋高 克和 幹事・石井 正剛
 事務所・佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内 TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323
 例会場・佐世保玉屋8階 (毎週水曜日) TEL 0956-23-8181
<http://www.sasebo-rc.jp/> E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 22 年 3 月 10 日

第 2,923 回例会

NO 32

《本日》会員数 76名 (出席免除会員 22名) ・出席 48名 ・免除者出席 11名 ・欠席 29名 ・ビジター 1名 ・出席率 63.20%

《前々回》会員数 76名 (出席免除会員 22名) ・出席 49名 ・メークアップ 6名

修正出席率 100.00%

会長挨拶

会長 橋高 克和 君

3月5日には啓蟄を迎えていよいよ春本番に向かうという事で、何となく心ときめく季節になりました。ただ今日は朝から大変寒い日になりましたが、ここまで来たら早く春到来となって欲しいものです。ここ一週間の間にあちこちで木蓮の花が満開でしたが、我が家も二本咲いておりました。毎年の事です。満開になると必ずと言って良いほど、春の嵐と雨が降り、本当に短い命で可哀想な花に感じます。ある方と話をさせていただいたら、本当かどうか定かではありませんが、武士の家では首が飛ぶという事で植えなかったそうです。



一昨日にご案内させていただきましたとおり、元会員の七熊太郎様がお亡くなりになっており、また元会員の堀江嘉昭様が3月7日にお亡くなりになりました。七熊様はアメリカのラホヤRCとの姉妹クラブ締結にご尽力いただいております。お二方のご冥福を心よりお祈り致します。

さて3月6日には、長崎国際大学ローターアクトクラブの役員交代式があり出席して参りました。3月に3人卒業しますので、この時期の交代式となっております。大変清々しい交代式で、ローターアクトの活動の経験もあつ

て、特に役員3人は大きく育ったと思えました。

立ち上げから福田パスト会長、安福パスト会長、山縣パスト会長には例会にも何度もお運びいただき携わっていただきました。また昨年の増本ローターアクト委員長、今年度の三浦委員長のお陰を持って今日があると思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

また先日、台湾の南部で大地震が発生いたし、姉妹クラブの台南RCにお見舞いの電報をお送りしていましたが、5日に、特に問題は無かったとの事でお礼のFAXをいただいております。それからご病気で療養中の松本英介さんですが、昨日石井幹事とお見舞いに伺いました。お元気にご回復のご様子で安心いたしました。

例会記録

- ロータリーソング「四つのテスト」
- 卓話者
100年の森構想実行委員会
(株)キャップフォーメーション
神山 秀美様
- ゲスト
長崎国際大学ローターアクトクラブ
二宮 彩花さん
堀 隆博君
- ビジター
佐世保南RC 直江 弘明君

幹事報告

幹事 石井 正剛 君

1. 第2740地区ガバナー事務所

地区幹事 高木 義和君

- ①「出席率の算出について、確認連絡事項」
- ②地区ホームページ更新のお知らせ
3月1日
- ③麻薬・覚せい剤乱用防止センター
NES LETTER 送付について

2. 第31回RYLA ホストクラブ佐世保南RC

会長 川原 正寛 君

実行委員長 中島 洋三 君

第31回RYLA (青少年指導者育成プログラム) 記録誌送付について

3. 長崎国際大学ローターアクトクラブ

会長 松永 夕加さん

新旧役員交代式お礼状

4. 佐世保市社会福祉協議会

「社協だより」第79号

委員会報告

■ローターアクトクラブ

委員長 三浦桂一郎 君

3月6日(土)、長崎国際大学ローターアクトクラブの新旧役員交代式が無事開催され、心温まる交代式でした。ありがとうございました。



■親睦活動委員会 委員長 古賀 巖 君

観桜例会のご案内

日時／平成22年4月7日(水)

18:30～

場所／アイトワ

(福石町・TEL 0120-39-0654)

会費／3,000円



その他の報告

長崎国際大学RAC 二宮 彩花さん

私たち長崎国際大学RACは、3月6日に新旧役員交代式を執り行いました。佐世保RCをはじめ地区内のローターアクト関係者の皆様には沢山ご出席頂きました。本当にありがとうございました。私がローターアクトで得た事は“人とのつながり”です。大学では得られなかった経験を、世代の違う方や住んでいる地域の方とお話しすることで得られました。これからの社会生活で、これらの経験を十分に活かしていきたいと思います。今までご指導頂き本当にありがとうございました。

今後とも長崎国際大学RACをよろしく願います。

長崎国際大学RAC 堀 隆博 君

私はローターアクトに4年生になってから入り、1年に満たない活動でしたが、本当に何で自分は4年生なのか、もっと大学で活動したい、と思うほど、私の中で大きな思い出となっています。

このローターアクトで私は、“学ぶことの大切さ”を学びました。自分の知っている事、知らない事、できる事、できない事、学ぶ姿勢の大切さを学ぶ事ができました。

この経験を糧に、今後も頑張っていきたいと思っています。ありがとうございました。



慶 祝

親睦活動委員会 原田 孝君

○今月の誕生祝い

田中 信孝君 (3日)
納所 佳民君 (8日)
中島 祥一君 (12日)
曾我 勝宣君 (20日)
古原 進君 (21日)
井手 孝邦君 (28日)
東 陽三郎君 (31日)
増本 一也君 (31日)



ニコニコボックス

親睦活動委員会 納所 佳民君

古賀 巖君、平尾 幸一君
納所 佳民君、原田 孝君
鬼木 和夫君、遠田 公夫君
西村正一郎君、飯田 満治君
岡 英樹君

神山秀美さんの卓話に期待します。

納所 佳民君、井手 孝邦君
増本 一也君

誕生祝いありがとうございます。



ニコニコボックス 本日合計 12,000円
累 計 685,000円

卓 話

『どんぐりを拾って森林を創ろう!』

100年の森構想実行委員会
(株)キャップフォーメーション

代表 神山 秀美様



- ① 100年の森林づくり発足の経緯・森について
- ② 宮脇 昭先生の指導による「ふるさとの木によるふるさとの森づくり」—どんぐり拾いからポット作り、苗木の管理、植樹祭まで
- ③ 第1回植樹祭～第25回植樹祭及び育樹祭の紹介 —この9年間で延べ1万人の参加者、9万8千本を植樹
- ④ 「環境を守ることはいのちを守ること」とのメッセージ
- ⑤ ふるさと佐世保の恵まれた自然環境を大切に次世代の子ども達へ引き継ごう!

.....

「100年の森構想」は長崎県佐世保市の市制100周年記念事業としてスタートしました。

私達の住んでいる佐世保は、海から始まった町であり、豊かな海は森から創られます。

「どんぐりを拾って森を創ろう」の呼びかけのもと、沢山の方のご支援をいただきながらこのプロジェクトは、2000年の秋、立ちあがりました。

2000年の秋、拾ったどんぐりから、翌年の春、小さな小さな芽がでました。この小さなどんぐりの芽が成長していくプロセスを見守りながら、10年後、20年後、100年後をイメージすると、きっとりっぱな森が出来ているのではないのでしょうか。

どんぐりを拾って、育てていくことは、自然を大切に作る心、親しんでいく環境もいか

に大切かを学ぶことが出来ます。そして、環境の大切さを、私達ひとりひとりが考え、この恵まれた自然環境を次世代に引き継ぐためにも、大切な作業ではないかと思えます。

ご指導をいただいている宮脇 昭先生は、ふるさとの木によるふるさとの森づくりを提唱されています。

またその中で、「環境を守ることは、命を守ること」とおっしゃっています。どんぐりの命と私達人間の命は、どちらも尊いものだと思いますか？ 一本のどんぐりの木に、命の尊さやお互いが支え合って生きる、この思いを託すことができるのではないのでしょうか。

「ふるさと佐世保の木によるふるさと佐世保の森づくり」に皆様とっしょに愉しく取り組んでいきたいと思えます。

“あなたの手で、ふるさとの森をつくろう。”

—100年の森HPより抜粋—

●なぜ“木”を植えるの？

「あなた自身とあなたの愛する人の命を守るためですよ」と、宮脇昭横浜国立大学名誉教授はおっしゃっています。私たちが生きていくために必要なもの・・・

●まずは、木を植えることから始めよう。

1本1本植えられた木は、やがて林になり、そして森になります。地中にはたくさんの根が発達し、これが土砂をしっかりと保持し、やがて地表が様々な下草等によって覆われる頃になると、山の流出は抑えられます。たくさんの木が生い茂った山は、その木の根や、地上に落ちた枯葉によって出来た腐葉土により、まるでスポンジのように水を溜め込むことができるようになります。

●山から流れ出した水は川になる。

山の土壤に溜まった水は、雨が降ると溜めきれなくなった分が流れ出していきます。この水が低い方へ流れていくことで集まり、やがて川になります。水は全ての生命の源。川の流域には草花が咲き始め、次第に緑となります。緑を取り戻した土は養分を蓄え、ここでやっと作物が作れる土が出来上がるのです。こうして出来た土を耕し、種をまき、育て、やっと収穫が出来るようになります。

このようにして収穫した作物を食べることで、私達は生きているのです。

●一緒に木を植えませんか？

100年の森の活動は、どんぐりを拾ったり、ポットづくりをしたり、水やり作業をしたり、草取りや植樹（今まで88,800本の木を植えてきました。）等の活動を続けています。



次回例会予告

卓話予定 有田共立病院
院長 井上 文夫様
「最近の動物行動学について」

(今週の担当 芹野 隆英)

クラブ会報委員会

委員長 芹野 隆英
副委員長 平尾 幸一

委員 池田 誠・小川 芳寛
納所 佳民